

医療倫理研修会

南国病院本館 多目的ホール H29.9.11 (月)

強みを活かした人生の組み立て方～理論編～

在宅リハビリ研究所 吉良 健司 氏

強みを活かした人生の組み立て方～実践編～

にき咲くクラブ 竹下 和弥 氏

理学療法室長 理学療法士 中川 圭子

今回の講演をお聞きして、リハビリに従事させて頂いている私の発想に、一石を投じられました。『リハビリテーションのねらいは、①失われた機能を可能な限り回復するだけでなく②残された、あるいは隠れた機能や能力をいかに引き出し、活用するかということも、大切な目標です』と学校では学びましたが、吉良さんのお話を聴きして先述の①は弱みに焦点をあてて課題を解決する医療・介護、②は強みに焦点をあてて課題を解決する医療・介護であると気づき、自分は日々の業務の中で、どちらかという①に力が入っているかもしれないと気づきました。

また、『どちらが正解とかはないのですが、どちらの指導方法を希望しますか？ ①短所・弱みを指摘されて伸ばされる方法②長所・強みを褒めてもらい伸ばされる方法』と問いかけがあり、人は障害がある状態での生活を強いられた時、弱みばかり指摘されていたら人は元気がなくなっていくという言葉も印象的でした。長所・強みを活かした医療・介護をしていくことで、患者様・寄り添うご家族様の人生をもっとより豊かに充実したものにできると確信した講演会でした。

そして、当事者の方の生の声は障害を持っていても誇り高く生きる実践をされているメッセージが心にしみました。

当院でご入院されている患者様の弱みは何かと考えた時、入院するまで頑張ってきた生活してきたけれども、自宅での生活が様々な事情により生活できなくなってきたというのが弱みだと思います。けれども私たちが提供できる医療や介護の中で、『自分で寝返りはできないけれど今日一日快適に過ごせた。ああ幸せ。』『寝たきりで、目を開けることはできないけど、優しく話しかけてくれてうれしかった。』『立ち上がりが少しくまくなったと言ってくれた。』

『ごはんが手伝ってもらいながらおいしく食べられた。』など生きる上での喜びを感じていただけることは、一つの強みではないかと感じました。そんな喜びや幸せを感じて頂ける医療従事者になれるように、これからも自己研鑽していきたいと思います。ありがとうございました。



参加者アンケートより

- ◆ 治療をしていると、どうしても病態など弱いところに目が行き、そこを改善、機能維持を目標に介入してしまいがちですが、患者さんの良いところを見つけ、患者さん自身も把握し、引き出しながら治療にあたる重要性を再認識しました。
- ◆ 「物事の事実は変わらなくても、本人の受け取り方だけで、不幸にも幸福にもなる！！」を教えていただいて、自分にも当てはまる部分があると感じました。ストレングスを主とした看護が提供できるように、患者さんに対する見方を変えていきたと思います。ありがとうございました。
- ◆ 医学的評価は必要な事ですが、その方の今の強みを強調することをプラスすることで生きがい、喜び(幸せ)に繋がることが分かりました。



**第2回
高知県精神保健福祉
バリアフリー
フェスティバル大会
高知県民体育館
H29.9.29(金)**

主催：高知県精神保健福祉協会

精神科デイケア室 看護師 宮崎 智夫

昨年に続き、第2回バリアフリーフェスティバル大会が実施されました。今年も昨年同様12施設が赤・白に分かれ競技しました。今年の競技内容は、じゃんけん列車の代わりに紙飛行機飛ばしとなり、新たに職員対抗リレーが追加され7種目となりました。借り物競争とよろず食い競争では男性・女性・60歳以上の3クラスで実施され、当日デイケアに参加したメンバー（応援の3名を除く）全員が出演し、紙飛行機飛ばしでは誰よりも遠くに飛ばし、よろず食い競争では昨年同様他を圧倒するほど早くゴールし、玉入れ

では皆で協力し一生懸命競技している姿が印象的でした。職員対抗リレーでは普段見られない職員の力走している姿に応援や笑いあり、大いに盛り上がっていました。他施設との交流もあり、喜び・笑いあいの楽しい1日となりました。



メンバーK・Yさんより

- ◆とてもおもしろかった。まずこれから述べておこう。そして一生懸命走って作った勝利、これに勝るものはない。これからのバリアフリーフェスティバルで求めたいものもなし、この大会を今後も続けて行くことに意義がある。そしてこれからも健康のため喜びのためやって行こうではないか。

**第21回
スピリットアート
高知県障害者美術展
高知県立美術館
H29.10.6(金)～
15(日)**

主催：高知県障害者美術展実行委員会・高知県

**立体作品部門 共同作品入選
「世界城 格差を生む社会」**

**絵画部門 個人作品入選
「美人スタッフ」**



精神科デイケア室 作業療法士 西 洋平

第21回スピリットアート展に今年も出展し、入賞することができました。今回は絵画部門での個人入選が4名、立体作品部門で共同作品が入選しています。

共同作品では「世界城 格差を生む社会」というテーマで作品を作りました。最初のテーマとして「城」をイメージした作品をみんなで話し合い、イメージ図を書きながらみんなで構想を練りながら考えました。段ボールを積み重ねた物を城に見立て、それぞれ大小の大きさを格差としてとらえるなどユニークな仕上がりになりました。今回は入選でしたが、また来年は入選以上を目指してメンバーさんと一緒に協力して作品を作っていきたいと思っています。

メンバーさんより

- ◆良かった。絵画作品を出した。他の人と違って時間をあまりかけずに入選できたので嬉しかった。(K・Yさん)
- ◆本当は特選を狙っていましたが、入選になり少し残念でした。半年ほどの製作期間だったので一生懸命描くことができました。(T・Mさん)
- ◆入選できなかったけど、今度は入選できるように頑張りたい。(E・Tさん)
- ◆思ったより自分の作品が目立っていなかった。入選はしたので自分の励みになりました。(N・Sさん)
- ◆今年は初入選を果たしました。入選以上を狙っていたので残念でしたが、今度も入選するように頑張ります。(J・Oさん)
- ◆賞が取れなくて残念だった。次回は賞がとれるように頑張ってみようかなって思う。(M・Oさん)